

# パルシステム生産者・消費者協議会

## 2016年度 上期関東・中部ブロック会議 開催報告

パルシステム生産者・消費者協議会  
事務局

- ・2016年5月19日～20日に静岡県にて生消協の関東・中部ブロック会議が開催されました。
- ・30産地・62名の生産者が集い、生消協からは大津代表幹事、細谷消費者幹事（パルシステム静岡）、吉田消費者幹事（パルシステム群馬）のほか、今年度の活動方針でもある他ブロック役員との交流・情報収集のため、東北・北海道ブロックから五十川ブロック長、関西・以西ブロックからは佐藤副ブロック長が参加しました。
- ・パルシステムグループからは、パルシステム静岡 岩元専務ほか9名、ジーピーエス野村専務ほか2名、パル・ミート大泉常務、パルシステム連合会 石田理事長、原専務、渋谷本部長ほか3名が参加しました。
- ・生消協およびパルシステムグループの方針説明、消費者幹事報告の後に、静岡県内の生消協会員（有限会社 伊豆鶏業、JA しみず、JA 遠州中央、有限会社 ジョイファーム小田原）による産地ビジョン報告を行い、グループに分かれてディスカッションを行いました。
- ・参加者からは、「産直の強みを生かし、10年後、20年後も地域農業を支えていけるよう頑張りたい」といった意見や、「後継者不足が問題とされるが、産地により状況が異なり、勝ち負けがはっきりしてきている。特に女性の割合が少ないことが課題。」「よく『若者はどうしようもない』と言われるが、自分たちなりに頑張っている。バブルを知らず、不景気な時代に生きてきた経験をもとに地道に頑張っている。今後、さまざまな困難に立ち向かうためにも、先輩方の意見を聞きたい。様々なことを教えてください。共に未来を創っていききたい。」という意見が出されました。
- ・交流会後の夜間にパルシステム静岡の職員を中心に、キッチンカーを活用し、パルシステムの食材を使用したカレーが提供されました。
- ・2日目はブロック会議のまとめを行い、2グループに別れて伊豆鶏業とジョイファームの視察を行いました。
- ・関東・中部ブロックでは各県持ち回りで会議を開催しており、会員生協と共に実行委員会を組織して準備を進めてきました。本会議において、次年度の開催は山梨県に決定しました。

